

7. 河川環境の整備と保全に関する目標

石川プロックの河川は、かつては、舟運による輸送路として産業を支え、用排水路として農業を支え、豊かな自然環境の一部を担ってきました。現在、約 50 万人の人々が生活する石川プロックは、道路や鉄道への輸送手段の転換、流域の都市化による農地や樹林地の宅地等への変化に従い、河川は山地の豊かな自然とまちを結ぶ水と緑のネットワークとして、貴重なオープンスペースとして、広域避難地などの防災用地としての機能が重要となってきています。また、流域には、「金剛生駒葛城山系」のもたらす豊かな自然環境、「寺内町」、「竹内街道」や「棚田」に代表される歴史・文化資源が数多くあります。河川環境の整備と保全においては、河川の自然機能、親水機能、防災機能などを維持、発展させつつ、歴史・文化資源や住民活動との連携により、「人」「自然」「歴史」の交流の川づくりを進め、川の魅力、さらにはまちの魅力向上につなげていきます。

【各エリアの目標と施策への展開の方向性】

ゾーン	エリア	市町村	目標		施策への展開の方向性
			テーマ	方針	
全 体			「人」「自然」「歴史」の交流の川づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・山地から平地の自然環境をつなぐ水と緑のネットワークの形成 ・流域の歴史、文化資源をつなぐ歴史ネットワークの形成 ・河川での活動を中心とした地域コミュニティの交流ネットワークの形成 	<ul style="list-style-type: none"> ・横断工作物の改善、支川や水路との連続性の確保など、魚類等の遡上、降下が可能な上下流の連続性の確保 ・既存の散策路と連携して、川沿いの散策路、休息所を整備し、避難所や避難路としても活用する散策(防災)ネットワークの形成 ・川沿いの道路を活用した駅等の市街地中心部と地域を結ぶアクセスルートの充実 ・アドプト・リバープログラム、石川河川敷花いっぱい運動、大和川・石川クリーン大作戦等の住民活動の支援
石川ゾーン	市街地ゾーン	A 1)石川下流エリア (石川下流部)			
	里地ゾーン	A			
	市街地ゾーン	B	2)石川中流エリア (石川中流部)		
	山地ゾーン	—	3)石川上流エリア (石川上流部)		
支川ゾーン	市街地ゾーン	A 4)大乗川エリア (大乗川)	豊かな歴史・文化と身近な自然を感じる交流の場としての川づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の歴史・文化と身近な自然にふれる場としての活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な自然の場の形成 ・植栽等による緑豊かな景観の形成 ・歴史的町並み、史跡をつなぐ散策路の整備
	B 5)天見川下流エリア (天見川下流部、加賀田川、石見川)	富田林市 河内長野市			
	里地ゾーン	A 6)飛鳥川エリア (梅川、太井川、飛鳥川)	里地の田園風景の中で、歴史・文化の香りや、川・農地・里山の自然を感じる交流の場としての川づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の歴史・文化と身近な自然にふれる場としての活用 ・農地や雑木林と一体となった自然環境として、動植物の生息・生育環境の保全 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史性を演出した空間整備(飛鳥川) ・歴史的町並み、史跡をつなぐ散策路の整備 ・河川、水路、水田へつながる縦断的な連続性の確保 ・植栽等による緑豊かな景観の形成 ・ホタル等の生息環境の保全
	B 7)千早川下流・佐備川エリア (佐備川、宇奈田川、千早川下流部、水越川下流部)	富田林市 千早赤阪村			
山地ゾーン	—	8)千早川上流 ・天見川上流エリア (天見川上流部、千早川上流部、水越川上流部)	羽曳野市 太子町、河南町 千早赤阪村 河内長野市	豊かな大自然と悠久の歴史を感じる交流の場としての川づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺の樹林と一体となった動植物の生息・生育環境の保全 ・流域内外の人々が訪れ、豊かな自然を体験する場としての利用



[石川河川公園]
交流の場として人々に親しまれている



[月読み橋(飛鳥川)周辺]
歴史性を感じることのできる空間となっている